

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2008号 2022年02月13日

日本共産党 根室市議団

根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023



コロナ禍の休校中でも オンライン授業で学びを継続



第6波の感染拡大の中、1月末頃より市内の複数の学校でも感染が確認されました。相次ぐ学年閉鎖、学校閉鎖に対して、根室市内では初めて本格的なオンライン授業が実施されました。今月7日には、全ての学校で登校、対面授業が再開されましたが、その間の取り組みはどのような様子だったのでしょうか？

2020年の春ごろにコロナのため市内の学校が1か月以上も一斉休校になりました。その後、国の方針によって全国の全ての小・中学生に一人一台のタブレット端末が配置されました。通常時は学校授業で活用しながら、感染拡大など非常時には在宅で学びを継続できる環境整備が進められてきました。根室市でも学校内のWi-Fi環境の整備を行い、また事前調査をして自宅にWi-Fi環境の無い家庭には、モバイルルーターを貸出す等の準備がされました。そうした中、今回の学校閉鎖、学年閉鎖によって、根室市内では初めて本格的なオンラインによる授業が実施されました。

市教育委員会によると、児童生徒の集中力や健康への影響等も考慮して、ライブ配信形式で授業を行う方式、先生の授業動画を視聴する方式、タブレット端末を通じて課題に回答提出する等、様々な方法を組み合わせ実施されたそうです。また子ども達の健康観察や保護者への連絡等もタブレット端末を通じて行われるなど、多面的に活用されました。とはいえ、感染はある日突然発生するわけで、学校現場では大変に苦慮しながら試行錯誤してきたものと思います。「オンラインだと授業中の子ども達の反応が判りづらい」という先生の見もあるそうです。また子ども達からは「あまり勉強に身が入らなかつた」という声もあつたと聞きます。

学校が再開されましたが、北海道教育委員会はしばらくの間、学校に対して部活動の休止や、児童生徒同士が近距離で活動する内容の授業を行わないように求めています。

なお、放課後教室では従前から利用児童数が多く、子ども達が密集する環境だったため、学年ごとにスペースを分ける等、出来るだけ分散させるように対応しているそうです。

また市教委では長引くコロナ禍で、子ども達の「こころ」への影響や体力低下についても懸念しているそうです。

子ども達が感染等の心配なくのびのびと学校生活を過ごせる日々が戻ってくることを切に願っていますが、非常事態においても学びを止めないための学校現場の挑戦はこれからもまだ続くものと思います。

北海道の後期高齢者医療の保険料 2022年度～23年度は少し値下げか？

2月18日に北海道後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催されますが、そこで提案される次期の医療保険料の案では、2022年度～23年度は現行より少し下がる見込みのようです。

一人当たり保険料は年額94,348円で、現行より92円減(▲0.1%)となる見込みです。広域連合は保険料の上昇を抑えるために、剰余金240億円を活用するようです。なお賦課限度額は現行64万円から66万円に引き上げる案です。



2022年度の年間保険料額の例

(単身世帯で年金収入のみの場合)

| 年金収入 | 均等割軽減 | 年間保険料 | 増減額 |
|------------|-------|----------|-------|
| 800,000円 | 7割 | 15,500円 | ▲100円 |
| 1,960,000円 | 5割 | 73,100円 | ▲100円 |
| 2,200,000円 | 2割 | 115,000円 | ▲200円 |
| 2,400,000円 | なし | 147,400円 | ▲100円 |

2022「北方領土の日」根室管内住民大会

2月7日、北方領土の日には根室管内住民大会が開催されました。新型コロナウイルスの影響により昨年が続いて、北隣協のYouTubeチャンネルでライブ配信されました。岸田首相は「2018年以降の首脳間のやり取りを引き継ぐ」と述べていましたが、そういう問題以前に新型コロナウイルスの下で領土交渉が全く行われない状況が続く一方、ロシア側は免税特区の設置など実効支配をさらに強めようとしています。何よりも今年こそは墓参等で安心・安全に四島への訪問再開することが強く求められます。

壇上で「決意表明」を行った武隈氏は「政府に対し、返還を本当に喜ぶ元島民達が一人でも多く生き延びる間に、返還への道筋をつける具体的かつ実質的な成果が見える外交交渉を強く求める。原点の地の住民である我々は、身体を張って残された力を振り絞り全力を尽くす」と宣言されていました。

